

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

May 2021

Écoutez Bien Vol.37 No.434

5

波をいくつも乗り越えて
新剣道八段にきく

表紙の人 / 豊泉家三代(砂川町)



本を持たない 二宮金次郎像

案内人：豊泉喜一氏

平成27年2月27日立川市立第八小学校に、手元の本が欠けている二宮金次郎像が復元建立されました。昭和20年(1945)4月24日、当時の砂川国民学校(現幸町5丁目16付近)が米軍の空襲を受け、多数の爆弾により校舎が壊滅しました。その時、御影石で出来ていたこの二宮金次郎像も膝から上が折れ、手に持っていた本は吹き飛んでしまいました。この爆撃により3名の教員が殉職、生徒は全員家に戻っていましたが、自宅で数名の生徒が犠牲になりました。

この二宮金次郎像は、破壊された校舎を片付けた際、付近の農家の方が自宅に保存されていたものです。平成13年2月開校百周年記念事業の折に、所有していたお宅から学校に寄託保存されました。この像を百周年記念行事で復元再建する計画もあったのですが、諸般の事情で学校側の了承が得られずそのまま保管されていました。平成27年、金次郎像を保管していたお宅から台石が発見され、これをきっかけに復元の話がまとまりました。復元にかかわる費用は全部保存していた方が寄付し、70年ぶりに再建されたものです。

砂川国民学校は爆弾で校舎が無くなり、地域の公会堂や農家の養蚕室などで授業をしました。戦後、立川飛行機少年工養成施設を利用して学校が再開されました。それが今の校舎の場所です。

元の学校が爆撃で破壊され、戦争の惨禍を受けたことを記憶するために、本を持たない二宮金次郎像をそのまま修復せず復元することとして、膝から



立川市立第八小学校の二宮金次郎像

下だけを新たに作って発見された台石に接続して再建されました。

現在では小学校唱歌「手本は二宮金次郎」の歌を知っているのは、昭和20年以前に小学校を卒業した人ぐらいでしょう。また、今では二宮金次郎を知っている人も数少なくなりました。現在立川市内に在る昭和20年以前に建てられた小学校には、ほとんどの学校に二宮金次郎の像があります。旧立川市内の第一小学校～第五小学校、旧砂川地区では第八、第九、西砂の各小学校です。この内、第一小学校の二宮金次郎像は、校舎改築の折に歴史民俗資料館の庭へ移動したまま戻っていません。また第二小学校の像は陶製だったので、本体の金次郎像は壊れて台座だけ校庭の片隅に残っています。

戦後二宮金次郎は封建教育の象徴のように考えられ、また本を読みながら歩くのは交通事故のもとになる、子供に労働をさせるのは問題がある、現代の教育のイメージと合わないなどの理由で、新しく建造されることは無くなり、戦後建てられた学校には二宮金次郎像は存在しません。

既存の二宮金次郎像も、それまで校舎の正面玄関横などの目立つ場所に在ったものが、校舎の改築などの折に校庭の片隅に移され、ひっそり立っているものが多くなり、今ではなぜこの像が学校にあるのか存在を知らない人も多いと思われます。



空襲で破壊された砂川国民学校があった場所

どこで働く？ もちろん〈グリーンスタイル〉で！

コロナがきっかけで進むテレワーク

ウェブミーティングが日常になってきました。でもいざやってみると、問題がいっぱい。それ、グリーンスタイルで解決しませんか？
会社でもない、家でもない、カフェでもない、4thプレイス〈GREEN STYLE〉。

GREEN STYLE :
<https://axia-works.jp>



会員制サテライト型シェアオフィスがオープンしました。立川駅北口から徒歩2分。フロム中武の6階です。9時から21時まで、いつでも気軽に使えるマイオフィス。こだわったのはプライバシー。サウンドマスキング効果のあるBGMが半個室での会話を守ってくれます。ガッツリ仕事したい時は7つある個室をどうぞ。防音、目隠し効果のある小窓、鍵付きの部屋で集中できます。会議室も超便利。他にない防音設備は会議や契約の内容を漏らしません。

ゆったり仕事したい人には囲われ空間がいいですね。リクライニングチェアが心身を包んでくれます。仕事に疲れたら、置いてあるパターでちょっと運動。ユーティリティも充実。ドリンクは飲み放題です。周囲に迷惑のかからない飲食はもちろんOK。文房具やPC周りの備品も置いてあります。

防音の電話ブースもあります。オープンラウンジをご使用の方、ついつい大きな声になりがちな仕事の電話は、ここでどうぞ。作業中にお昼ご

飯を食べたい、ちょっと出かけてきたいと思った時には、専用ロッカーが一時保管であなたの荷物を守ってくれます。

セキュリティの高いWi-Fiを独占配線しています。このシェアオフィス用ですから、安全で速いです！プライバシーへのこだわりはプリンターまで。自分で設定したパスワードでプリンターを使用することができます。もしプリントし忘れて帰っても、翌日にはデータは消えてなくなっているので安心です。

コロナ禍に東京都が推進するテレワーク。でもいざやろうとするとどこで？という問題に突き当たります。狭いカフェ、お隣が近すぎる。小さいテーブル、資料が広げられない。家からの発信には子どもの泣き声やペットの動きが筒抜け。仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現はみんなの願い。「進化を止めない街 立川」こそがその実現の舞台です。ハブ駅だから都心と郊外の融合・交流が図れます。その一助になればとの思いから松田裕紀社長が始めたこだわりのシェアオフィス。自らが経験してきたビジネスマンライフがこだわりの裏打ちです。スタイリッシュなハードに加え、いずれはソフト面でも貢献したい。お値段以上の何かがついてくる、それが〈Green Style〉です。



シンボルツリーを真ん中に全体を見渡します



半オープンスペースですが、サウンドマスキングで向かいあう会話は外に漏れません



ウェブミーティングもできる防音会議室
すぐれもののモニターは一度使うと病みつきでしょう 椅子は快適ゲーミングチェア



入口は認証された会員だけが入れます



リクライニングシートでゆったり仕事



防音個室は全部で7部屋



立川生まれの立川育ち
「立川が一番、そう思うからこのスペースを作りました」と
株式会社 Axia works 代表取締役社長 松田裕紀さん

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町
 柏町・幸町・若葉町・栄町・高松町 のお店です。

泉町	blooming bloomy 5らぼーと立川立飛店 548-1215 東京消防庁 立川消防署 526-0119 Café はあもにい♪ 512-7810 大和ハウス工業(株) 多摩支店 525-1821
西砂町	砂川庵 甚五郎 531-6788
一番町	私立立川ひかり保育園 531-1273
上砂町	B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250 fresh shop スーパーはしもと 536-2331
砂川町	みのーれ立川 538-7227 JA 経済センター 立川店 536-1824 陶工房 己流庵 537-6102 たましん 砂川支店 535-4411 珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070 BREAD & Sweets マニシェール 537-2202
柏町	山梨中央銀行 立川支店 536-0871 株式会社 セレモア 534-1111 超こつりらーめん パワー軒 535-1665 H.works 537-7763 ペーカリー リオンドール 535-4882 (有) まつい測量 534-4411 ピーコック 玉川上水店 538-3861 菅家医院 536-4602
幸町	いなげや 立川幸店 537-1820 たましん 幸町支店 535-5311 中国料理 SANFUJI 536-3813 西武信用金庫 幸町支店 537-3101 お米屋さん 大黒屋 536-0851 (株) 松浦商事 536-6001 至誠キートスホーム 538-2323 とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611 ドイツ製法/ム・ソーセージ セーホフ工房 535-5009 和洋菓子 たちばな 537-0347 BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912 在宅療養支援診療所 立川在宅ケアクリニック 534-6964 古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
若葉町	浅見内科医院 537-0918 スーパー ヤオコー 538-1711 ありた整骨院 534-1622 カフェ タイニーガーデン 507-1346 カフェ・レストラン てくたく 536-5788
栄町	たましん 栄町支店 536-9711 いなげや 立川栄町店 523-7201 チーズ王国 本社 513-4101 高橋酒店 522-4479 彩食中華 須崎 507-0981 寝具の石川 524-1333 手作りパン工房 Bonheur〜ポヌール〜 536-3207 FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700 相模屋酒店 536-2476 メンズカット ヤザワ 536-8738 大型コインランドリー マンマチャオ茶町店
高松町	ルーデンス食堂 米穀・食料品 横町屋 522-2609 中華料理店 太幸苑 527-0906 セイロン風カレー シギリア 507-2418 ライブハウス Crazy JAM 529-9507 立川湯屋敷 梅の湯 522-3800 ヘアサロン イトウ 522-6281 立川伊勢屋 本店 522-3793 大野サイクル 523-2061

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

くるりんのぬいぐるみをプレゼント

立川観光協会では、立川市公式キャラクター「くるりん」のコンパクトサイズ、「くるりんぬいぐるみストラップ」を販売しています。全長約10.5cmのかわいくるりんストラップは、1つ1つ手作りで一体990円。Caféはあもにい♪、信濃大町アルプスプラザ、菊園、サロン・ド・テ・チーズ王国、伊勢屋、コトキヤ立川本店、みのーれ立川、浅見酒店で販売しています。えくてびあんでは、この「くるりんぬいぐるみストラップ」を5名の方にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキにご住所、お名前、ご連絡先とえくてびあん5月号のご感想をご記入の上、〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4階 えくてびあんプレゼント係までお送りください。希望多数の場合は抽選とし、抽選の結果はプレゼントの送付を以てお知らせとします。



3.11チャリティイベント

10年前のあの日を忘れない。えくてびあんのインタビューにもご登場いただいた音楽プロデューサーのしおみえりこさんとクラリネット奏者の橋爪恵一さんご夫妻が主催する「3.11の祈り」がグリーンスプリングスで行われました。写真はグリーンスプリングスの芝生に広げられたパッチワーク。被災した着物からステージ衣装を作り、その端切れを使って世界中の人たちが心寄せて創ってくれたものです。11日当日と続く16日からの6日間、アートあり、音楽あり、もちろん祈りありの心温まるイベントとなりました。



広いグリーンスプリングスの敷地いっぱいに広げられたパッチワーク作品



2600枚の作品の中心にメッセージも記されて

真如苑の稚児行列

3月28日は真如苑開祖伊藤真乗様のお誕生日。立川は真如苑の総本部がある街です。総本部のある柴崎町では、開祖のお誕生を寿ぐ稚児行列が行われました。昨年はコロナ禍で見合わせられた稚児行列。今年はマスクやディスタンスなど徹底した対策もっての開催。マスクをしていても、かわいいお稚児さんたちでした。沿道からは「おひなさまだ!」の声も上がっていました。



ワシントンホテルの和定食

ご宿泊のお客様に大人気の和朝食。そのメニューがランチにも提供されることとなりました。メインはキンメダイの煮つけです。具だくさんのお味噌汁と和惣菜、おいしくいただいて1350円。今後メニューも増える予定。あっさり、しっかり、日本人にはうれしいお昼ご飯です。



恐竜グリーティング

春休み。グリーンスプリングスに棲みついている恐竜が、街区を練り歩きました。出没したのはアロサウルス。まるで生きているかのような大迫力に、街区のお客様も大興奮。でも実は一度だけ、サプライズでアロサウルスよりずっと大きい一番人気のティラノサウルスが登場しました。博物館や劇場でない、風に木々がそよぐグリーンスプリングスは恐竜たちのお気に入り。棲みついているのですから、いつ出没するか、グリーンスプリングスは要チェック!



3月20日 街区を歩くティラノサウルス



改めてよろしくお願ひします

柴崎町2丁目にあるタイ屋台料理の「カオマンガイ」。4月5日からオーナーが変わりました。「餃子のニューヨーク」「カオマンガイバザール」「うなくし」など同系列のお店だった「カオマンガイ」、そこでずっと店長としてこられた小林直樹さんのお店になりました。徐々に小林さんらしいお店になっていくのですが、当面は今までのまま。今後に大きな期待を寄せて、どうぞ今まで以上に、ご鼻息に!水曜定休、ランチからやっています。



定番メニューのカオマンガイ、ヤムタクライ、タイ風唐揚げ、ノンアルモヒート



オーナーシェフの小林直樹さん

えくてびあんスタッフ一同

統数研の出前講座 西砂学習館

統計数理研究所が緑町からオンラインで一般市民向けに講義をしてくれました。会場に集まった約20人とリモートでつながる80人。対面ではないけれど、感染症対策をしながら集まって画面を通して先生のお話を聞いたという感じでしょうか。主催は西砂図書館、共催が統計数理研究所でした。講師は日野英逸先生と持橋大地先生。統計とは?というところからのお話でしたが、最初の方、ちょっと通信トラブルでつながり残念。でも「生物は経験から知識を獲得し、機械はデータから知識を獲得する」という興味深いお話も。聴講者は比較的若い世代で、なんだか納得の2時間でした。



表紙の人

前列左 豊泉喜一さん、マサさん
 中列左から 直子さん 日菜子さん 加菜子さん
 後列左 茂樹さん 智史さん

砂川の生き字引 豊泉喜一さんのご家族です。背景にある山茱萸(サンシュユ)の木は、江戸時代からここで春先に黄色い花をつけています。喜一さんのお孫さんと茂樹さんのご長女 加菜子さんがご結婚され、豊泉姓を継ぐことになりました。おめでたい話です。喜一さんにはお子さんが3人。お孫さんは7人ですが、いわゆる内孫は女性がふたり、外孫は全員男性なのだとか。夫君の智史さんは加菜子さんの学生時代の同級生。まだ20代の若いご夫婦が自ら苗字にこだわって、残していきたいと言う。すばらしいお話ではありませんか。五日市街道沿いの風景も年々変わっていきますが、苗字が続くことで歴史を続けることもできるはず。喜一さんの教えを乞うているえくてびあんは、そう思います。先ごろ外孫さんに双子の曾孫さんができたのだとか。末広がりな豊泉家、未永いご繁栄を。

かたこと

◆コロナ下で新年度を迎えました。失われた1年を取り戻すかのように昨年度の入学式を行った大学も。停滞してはいけなと思っても、自由に動けないのが現実です。でも、止まることは立川に似合いません。そのために、どの都市よりも感染症対策の意識が高く努力を怠らないのが立川、であって欲しい◆昨年開業した北口のグリーンスプリングス。大々的にオープンできなかった無念は残りますが、慎重に営業を続けてきて1周年。世界的な芸術家たちの作品や音楽に出逢えると同時に、いつの間にか立川が誇るアーティストたちの集まる場所になっています◆新しい立川を生み出してきた昔の立川。立川印刷所社長の鈴木さんが語る「立川ノスタルジー」は今回が最終回。写真に写るマジソンプックは、知る人にはとても懐かしい。ひとつの時代を感じます。次号からは少し時代をさかのぼり、立川のあの日を振り返ります◆まもなく旧陸軍立川飛行場が開設されて100年。鉄道が新橋ー横浜間を初めて走って150年。立川高校は今年創立120年を迎えます。節目のこの時、慎重になりながらもコロナに負けない。それが立川。えくてびあんも頑張ります。

えくてびあん ⑨

5月号 第37巻 通巻434号

令和3年5月1日発行
 発行 有限会社えくてびあん
 〒190-0023
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
 TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
 E-mail message@tamatebakonet.jp
 URL https://www.tamatebakonet.jp
 発行人 黒須 環
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
 デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
 印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

オレの立川ノスタルジー [立川の風景 昭和色アルバム] から [最終回]

the SOUND of Oldies in TACHIKAWA



[the SOUND of Oldies in TACHIKAWA COLLECTION] (写真：武田和紀氏)

地方に嫁いだ中学校の同級生が、中央線が立川駅に到着しドアが開くと立川の匂いがすると言っていた。その感覚は自分にも覚えがある。その特有の風が実際に吹いていた中学時代から作詞作曲に励んできたオレは、いずれシンガーソングライターとして自作の歌で人々に感動を与えたいと思っていた。幼稚な夢はかなわぬまま40年以上が過ぎたが（まだ引退はしておりませぬ）、「立川の風景 昭和色アルバム」の中で「昭和の立川の風景」という曲に詞をつけることがライフワークとなった。

このシリーズのタイトルである「the SOUND of Oldies in TACHIKAWA」のSOUNDとは、この街の喧騒のことである。懐かしい風景を見るとあの頃の風が吹き、あの頃の街の音が聞こえてくる。駅前通りの商店のラジオからは「ささやかなこの人生」が流れ、いつも誰かを待っていた駅前には「終わりのない唄」が聞こえてくる。

この風景を遺してくれた方々、戯言を聞いていただいた方々、そしてこのような機会を与えてくれた、えくてびあん編集部の皆様にご心より感謝を申し上げ、筆を置かせていただく。

文：鈴木武氏 (立川印刷所社長)